

営農指導員の ワンポイントアドバイス

営農指導員 永奥 肇ながおく 肇

初夏に向けて花卉の植え付け準備をしましょう。

1 栽培の計画を立て、種子や苗、球根の手配をしておきます

4月には気温・地温がともに上昇し、花卉類の春まきや春植えの作業が始まりますが、今回は初夏における栽培の準備について紹介します。

畑の準備として、堆肥やpH(※)の調整のために石灰や基肥を入れ、耕運して畝つくりを行うほか、早めに種子や苗、球根の手配をしておきましょう。

※水の性質を示す単位。pHは0～14の数値で表され、pH7を中性とし、7より小さい場合は酸性、大きい場合はアルカリ性となる。

2 初夏頃から植える主な花卉類

①ヒマワリ
年中いつでも栽培可能ですが、よく売れるのは初夏から秋にかけてです。播種(種まき)から開花までが非常に短期間であるため、メインの花や野菜の栽培圃場が空いた時期にワンポイントで栽培することもおすすすめです。栽培はコンパクトに作るのが良く、普通の畑であれば無肥料で、かつ株間を

狭く植えます。さらに、ハウス栽培であれば灌水(水やり)を控えるにすることも大切です。

②ケイトウ

仏花としての使用が主になりますが、品種によっては家庭のテーブル花として飾れるものもあります。ヒマワリと同様にコンパクトに仕上げるのが大切で、無肥料、密植が基本です。

③グラジオラス

家庭花壇では通常春植えにするため、開花が初夏に集中し、直売所では高単価を設定できません。そのため、開花を初秋頃にずらす工夫するのがおすすすめです。良く充実した球根を春に入手し、5℃程度の冷蔵庫で保管します。

④その他の種類

その他、9月咲きの小ギクやコスモス、アスターなどたくさんあるため、今のうちに栽培の準備をしましょう。初夏の時期は花木類の挿し木を行いやすい時期なので、直売所向きの切り枝花木の選定と挿し木の準備も行いましょう。

問い合わせ

農業振興課 農業振興係
☎0824・73・1131

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



東城町で絵本の読み聞かせ活動を続ける
小林 克さん

東城町の読書推進ボランティアグループの会員で、読み聞かせ活動をしている小林さんに話を聞きました。

「山の子会」との出会い

私は東城町で生まれ育ち、短大への進学で地元を離れました。その後、東城町出身の夫と結婚。今から21年前、子どもが小学校に上がるのをきっかけに東城町に戻ってきました。

その後、いろいろな仕事をしましたが、約10年前に東城町で絵本の読み聞かせを行っているボランティアグループ「山の子会」と出会いました。自分ができる範囲内で何かお手伝いがしたいと思い、山の子会に参加することを決めました。人前に出ることが苦手な私にとっては、絵本の読み聞かせをすることは大きな決断でした。

山の子会の活動を通して

山の子会は町内の保育所や小学校などで絵本や紙芝居などの読み聞かせ活動を定期的に行っている団体で、昭和51年に発足し、会員が世代交代しながらこんにちまで活動が続いています。

紙芝居づくりにも取り組んでいて、東城町に伝わる話を描き起こしたオリジナル作品もあり、今では40作品以上のストックがあります。古いものは色を塗り直したり、破れたところを直したりして、今でも大事に使っています。

みんなで紙芝居を作ったり、直したりするこの時間が本当に楽しいです。

小中学校の朝の読書タイムで読み聞かせをすることもありますが、時間が決まっているため、時間内で読める作品を選んだり、子どもが楽しめるような読み聞かせをしたりするには工夫が必要で、図書館で本を選んだり、自宅で読む練習をしたりしていると、新しい気付きや学びにつながっています。活動を通して自分の知識や経験を磨けているので、これからも自分のできる範囲で活動が続けていきたいです。

問い合わせ

自治定住課 自治定住係
☎0824・73・1209